

出張先の夫へ

柳橋好子

岩手県・四五・主婦

大連は寒いですが、冷え込みは厳しいですか。全く知らない土地なので見当もつきません。その分、心配も大きくなります。

あなたが出張して、ずっと張り切って仕事しているのは想像できます。私も、うるさい(?)人がいないから手を抜けば良いかなと思いつつ、いないからこそきちんとやろうなんて格好つけて、少々疲れ気味です。

昨日もその前の晩も、ちよつと眠れませんでした。気持ちが悪落ち込ん

でいたからかもしれませんが、日常の生活のなかで忘れていた心の奥の何かが、フツとうずいたのかもしれない。

あなたに分かりますか。きつと笑われます。

でも、冬になりかけのこんな晩、ひとりでこうしていると、私だって胸がキュンとして来ることあるんですよ。

あなたと私のこと考えてみたんです。

夫婦だから一緒にいて、当たり前。空気みたいな間がただからいなくなるの苦しい。そうかなあ、義務だから相手のめんどろを見合っているのですか。いないと困るから、不便だから、待っているのかな。いいえ、いいえ、違いますって叫びたいのです。

忘れていたかもしれないけれど、私はあなたに恋しているのです。恋人として待っています。

本当に心の結びつきを感じます。切なく、いとおしいから待っている

のです。

結婚する時、あなたが言いました。

「いつまでも新鮮でいよう」

「いつも恋人でいよう」

「年とるな、美しいままでいろ」

最後のは守れないけれど、前の二つは大丈夫みたいと思っています。

あなたも思い出して、考えてみて下さい。そうだよ。大丈夫だよ。

電話の一本くらい下さい。あつい手紙も下さい。子供達も待っています。

早く帰って来て下さい。本当に待っているんです。愛しているって言いたいから。

*以前、主人が中国の大連に出張したときに、書いて出さなかったラブレターです。